

平成28年度の 収入支出決算

	一般勘定	介護勘定
収入総額	3,875,025千円	296,301千円
支出総額	3,752,725千円	287,161千円
収支差引額	122,300千円	9,140千円

北海道コンピュータ関連産業健康保険組合の平成28年度事業と収入支出決算状況(一般・介護)につきましては、去る7月11日(火)開催された第79回組合会において審議され、全員一致のうえ承認決定されました。

健康保険 『平成28年度は赤字決算』

当健康保険組合の財政は赤字決算となりました。被保険者数が前年度より年平均で262人増加し、平均標準報酬月額も1,476円の増額となったものの、みなさんやご家族の方の医療費が被保険者一人当たりで10,437円の増、被扶養者でも6,169円の増となり、高齢者等を含めた総体では16,831円(前年比+9.0%)の支出増となりました。レセプト点検などの医療費の適正化に努めましたが、準備金から120,267千円を繰り入れて122,300千円の決算残金となり、経常収支では59,034千円の赤字となりました。平成27年度から保険料率を9.8%に引き上げておりますが、納付金の過重負担は変わらず、医療費と合わせると保険料収入の95.2%を占めております。

主な収入

健康保険収入

被保険者のみなさんと事業主から納めていただいている健康保険料です。3,639,331千円となり、収入全体の93.9%を占めています。

主な支出

事務費

当健康保険組合事務局の運営にかかる諸経費と組合会関係費で65,624千円でした。

保険給付費

みなさんやご家族の方が病気や怪我をしたときの医療費、傷病手当金・出産育児一時金といった各種現金給付等に充てられる費用です。今年度は1,747,488千円となり、支出全体の46.5%を占めております。

納付金

高齢者医療制度等に拠出するための支出で、1,718,845千円となりました。

- ★前期高齢者納付金(65～74歳までの方の医療費を支えるために)
- ★後期高齢者支援金(75歳以上の方が加入する後期高齢者医療制度へ)
- ★退職者給付拠出金(退職者の方の医療費を支えるために)

これらは支出全体の45.8%となり保険給付費と合わせると支出全体の92.3%を占めております。

保健事業費

人間ドック等健康診査を中心とした保健事業では、支出全体の4.4%でした。

介護保険

当健康保険組合が国に納付する介護給付費が287,159千円で、昨年度より38,625千円の増となっております。

一般勘定

●準備金繰入	122,220千円
●財政調整事業繰越金	80千円

介護勘定

●準備金繰入	2,610千円
●翌年度繰越金	6,530千円

決算残金処分

今後も事業主及び加入者の皆さまにご協力いただき、医療費の適正化やデータヘルス事業による効果的な保健事業等に取り組み、健全な組合運営が維持できるよう、より一層取り組んでまいります。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。